

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名 福岡県

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	浮羽町立御幸小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	2	3	3	3	2	2	18	28
児童数	82	78	81	95	86	65	5	492	

研究の概要

1. 研究主題

自ら学ぶ力を育てる学習指導法の研究
～基礎・基本を補充・発展する学習のシステム化を求めて～

2. 研究内容と方法

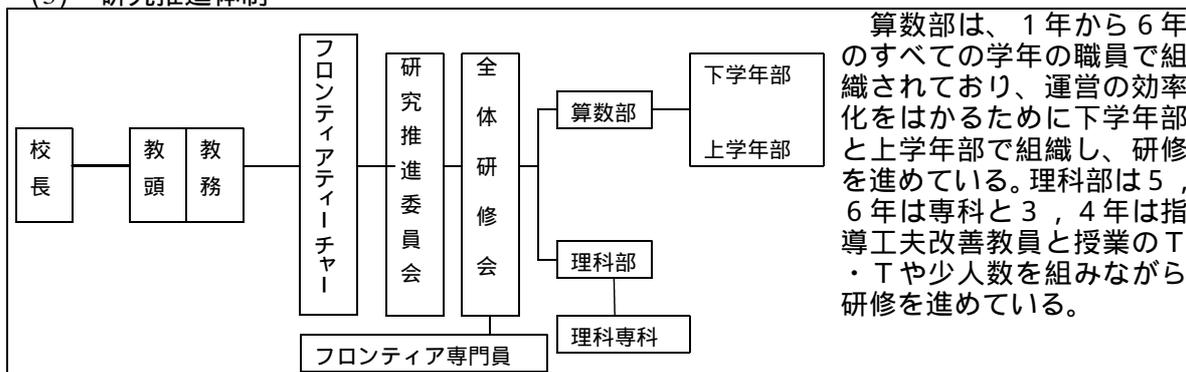
(1) 実施学年・教科 (2) 年次ごとの計画 (3) 研究推進体制

- ・ 全学年 算数 (12学級)
- ・ 昨年まで算数科を研究テーマに取り組んでいたため、これまでの研究成果があるため。
- ・ 3年生から6年生 理科 (各学年1クラス)
- ・ 自ら学ぶ力の1つである問題解決能力を伸ばすために教科の枠を広げ、研究に取り組むため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 自ら学ぶ力を育てる学習指導法の研究</p> <p>研究の見通し 基礎・基本を身につける学習と基礎・基本を補充・発展する学習を一人ひとりの児童に位置づけることによって学ぶ力を育成する。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎・基本を補充・発展する学習 (モデルづくり) (基礎・基本の深化・発展 基礎・基本の進化) ・ 基礎・基本を身につける学習の充実 (児童によるめあてづくり 学習ノートの充実 自分の考えを深め・広げる) ・ 評価を生かした指導の工夫 (適切な評価規準に基づいて指導の充実 自己評価を生かし、児童のニーズに応じた指導を行う。) ・ 補充教材・発展教材の開発 (補充教材の視点) 類似な事象や場面。活動や体験を通して知識や考えのよさを再認識できる事象や場面。知的意味や意欲を高める魅力的な事象や場面。(発展教材の視点) 知識・技能等を選択し広げることができる事象や場面。知識考え等を深める事象や場面。新たな知識や数学的な見方・考え方で解決する事象や場面
	<p>テーマ 自ら学ぶ力を育てる学習指導法の研究</p> <p>研究の見通し 個に応じた指導をより明確にするための教材開発と具体的な支援の工夫や具体物等の開発を行う。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個に応じた指導のための補充教材・発展教材の開発。 ・ 重点単元と評価内容を位置づけた年間指導計画の具体化。 ・ 基礎・基本を身につけるための学習指導法の工夫。

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

算数では、補充的・発展的な教材を関与性（子供にとって関わりが深い、身の回りにある事象）、本質性（数学的な見方の広がりがある事象）、活動性（繰り返し処理できる）から開発したことにより、自ら学ぶ力が身に付いた。
理科では、子供の興味・関心を重視した教材開発を行ったり、物作りを評価してコース選択を行ったりしたことにより、自ら課題を持ち、課題解決をはかることができるようになった。
個に応じた指導をするために少人数指導やT・Tなどの多様な指導体制の工夫ができるようになった。

2. 今後の課題

算数は問題場面への関心を高める教材や具体物や半具体物を使う機会を多く取り入れた教材開発を行うことはできたが、基礎・基本を十分に補充したり発展させること
理科では、科学的な見方や考え方を深めるためには、個に応じた事象提示の工夫が必要である。そのためには、自己評価を生かし教材の開発とコース選択の充実を行っていくことが大切である。
子ども達の理解や習熟・伸びについて適切に評価・支援するために、単元ごとの評価補助簿のさらなる工夫と活用の仕方を考えていく。

学力等把握のための学校としての取組

学力診断テスト

目的 子供の学力の伸びを把握する。
実施内容 国語 算数 6年は（国語・社会・理科・算数）
実施時期 2月6日授業評価
授業評価
目的 学力向上をめざすために、子供の実態を把握する。
実施内容 学習への関心・意欲 課題設定力 問題探求力 自己表現力（話す）
自己表現力（書く） 自己表現力（聞く） 学習への達成感の7つの観点から自己評価する。
実施時期 毎学期1回 年3回 児童の変容を観る

フロンティアスクールとしての研究成果と普及

フロンティアスクール実践交流会
日時 10月28日
場所 本校
対象 北筑後管内（浮羽郡小学校教育研究会発表会を兼ねる）
会の目的 管内の職員に本校のフロンティアスクールの取組を実践発表し他の学校へ普及する。
新任校内研修担当者研修会実践発表
日時 12月3日
場所 北筑後教育事務所
対象 北筑後管内
会の目的 「確かな学力を身につけさせるための校内研修の実際」について実践発表
公開授業
日時 6月4日
場所 御幸小学校（本校）
対象 町内管理職 指導工夫改善教員 管内フロンティアティーチャ
会の目的 「確かな学力」の向上を図るために授業を公開し研修を積む。
ホームページ作成 3月完成予定

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	6学級以下	7～12学級		
	13～18学級	19～24学級		
【指導体制】	25学級			
	少人数指導	T・Tによる指導		
【研究教科】	一部教科担任制	その他		
	国語	社会	算数	理科
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】	生活	音楽	図画工作	家庭
	体育	その他		
		有	無	